

# 2011年度 事業報告書

自 2011年4月 1日

至 2012年3月31日

特定非営利活動法人 開発教育協会（DEAR）



## 事業の概要

### 1. はじめに ～ 2011年度を振り返って ～

2011年3月11日に起きた東日本大震災は、甚大な被害をもたらし、多くの尊い命を奪う未曾有の災害となりました。さらに、その後起きた原発事故では、放射能汚染という目に見えない巨大な負債を次世代に残すことになりました。

DEARは東北の被災地への復興、復旧のために東北地域に拠点を置く会員と連携・協力し、資金的支援や情報協力を行ないました。また、東日本大震災や原発問題について、様々な視点から振り返り、意見や気持ちを共有し、これからの社会を考え、行動していくための場をつくることに力を入れました。

また、2011年は「9. 11」（2001年9月11日）から10年の年でもありました。10年たった現在も、世界各地の戦争や紛争は終わらず、経済の格差は広がり、社会的弱者の人権や多様な価値観が認められていない状況は国内外で大きく変わっていません。

しかしながら、国内外で市民が自らの権利を取り戻したり、不公正や不平等な状況に対し、声を上げ始めています。一人ひとりが、社会の問題・課題に気づき、持続可能な社会をつくる主体となることの重要性を強く感じています。

開発教育は「共に生きる公正な地球社会の実現」という目標を掲げています。これを達成するためには、学びから行動へと、問題に積極的に関わっていく姿勢を育むことが、DEARの役割であると改めて実感しております。

今年度の重点事業として中期方針の特に「方針4 地域との有機的なネットワークの構築」と「方針5 組織強化」に焦点を当てて活動をすすめました。また、2012年12月に設立30周年を迎えることから、会員や支援者拡大に力を入れるとともに、30周年事業の準備をすすめました。

中期方針として掲げた5つの柱に関しては、実施体制を整え、事業を進めました。

また、年度当初に計画した6つの領域「Ⅰ. ネットワーク事業」「Ⅱ. 調査・研究事業」「Ⅲ.

情報・出版事業」「Ⅳ. 研修・講座事業」「Ⅴ. 政策提言事業」「Ⅵ. 組織強化事業」においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することができました。

まずは、各中期方針の成果を以下に報告いたします。

#### 中期方針1. グローバル化による諸課題を「足もとの課題」から捉える視点の提示

国内の貧困や格差、各地域のグローバル化に伴う様々な問題にも象徴される、私たちの足もとの問題に取り組む方法や、ファシリテーションについて、各地域の実践や経験を共有しながら学ぶ研究会を開催しました。今まで行なってきたESD人材研修会の振り返りを通して、各地域の課題への取り組みやファシリテーションのありかたを共有し報告書を作成しました。

また、開発教育全国ネットワーク会議においても分科会のなかで、地域の問題に関わるファシリテーションについて考えを深めました。

#### 中期方針2. 学校教育への開発教育モデル事業の提案

2011年度より小学校が新しい学習指導要領を実施したことをうけて、「授業づくりサークル」では小学校における開発教育の実践報告と授業づくりのヒントを掲載した『世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド～開発教育・ESDを教室へ』を11月に発行しました。

さらに、学習環境づくりや、問題を子どもたち自身が解決する方法を考えることを日本で広げる「CR教育研究会」では、4月の新年度の学級づくりやグループ作りのためのアクティビティやヒントを掲載した冊子『子どもとできる創造的な学級づくり～実践のヒント』を作成し2012年度会員に配布することにしました。

### 中期方針3. 国際協力NGOとの協働プログラムの実施

国連ミレニアム目標（MDGs）の達成のために社会の意識を喚起するための団体「動く→動かす」や教育協力NGOネットワーク（JNNE）のキャンペーンに積極的に参加し、キャンペーン推進に協力しました。

特に、学校や地域でより深くキャンペーン内容を理解し、学ぶための学習ツールを作成し、広く頒布しました。また、国際協力NGOが既にもっているツールや教材を広く紹介し、開発教育を通して世界の状況への関心を高めていくことをすすめました。

### 中期方針4. 地域との有機的ネットワークの再構築

東日本大震災の支援のためにDEAR東北緊急募金を開設し、全国の会員や関係者に声をかけ、集めた募金は東北地域を基盤として被災者支援をしている会員団体に振り分けました。さらに、ウェブサイト「東日本大震災からはじまる学び」を公開し、東日本大震災をテーマとする教材を無料ダウンロードで発行したり、全国各地の授業実践を共有する等、これまでの経験やネットワークを活かした取り組みをすすめました。

第8回「開発教育全国ネットワーク会議」では地域の課題に取り組むファシリテーションについてや、エネルギー教材について、そして広島発の参加型の平和教育教材について、経験・情報を共有し、積極的な意見交換がされました。

### 中期方針5. 組織基盤の強化

自己財源の安定化のために、書籍販売と講師派遣など自主事業に力を入れるとともに、DEARの活動への参加者、組織への支援者を増やしていくことに力を入れました。昨年度導入したデータベースシステムを有効に活用し、会員や参加者により丁寧なコミュニケーションをはかり、個々のニーズを具体的に把握するとともに、会員・支援者拡大を進めました。

また、2012年度に設立30周年を迎えることから、30周年記念募金を開設し、広く募金を呼びかけました。さらに、東京都の両立支援の助成金を得て、就業規則の改訂と労働環境の整備をおこないました。

幸いなことに当会は、実に多様な経験や実績をお持ちの会員や役員によって、支えられてきました。そうした当会の貴重な財産がより有効に働き合い、相乗効果を生み出していくよう、引き続き組織や事業のあり方や体制を整備していきたいと考えます。

今後ともみなさまのご支援・ご協力・積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 2. 各種事業報告

### I. ネットワーク事業

#### 1) 「担い手」連携強化事業

全国の開発教育実施団体と連携協力しながら、各地域ブロックの担い手（団体・個人）とのネットワークの維持強化や協働事業の実施に努めた。

また、第8回となる「開発教育全国ネットワーク会議」を3月3日～4日の日程で富坂キリスト教センター（東京・文京区）にて開催、担い手21名とDEAR関係者11名が参加した。分科会では「地域に向き合うファシリテーター」「ヒロシマから、これからの平和教育を考える」「原発とエネルギーをテーマにした教材づくり」の3つのテーマが設けられ、各課題の現状や今後に向けた課題等が議論された。詳細に関しては、別途発行の報告書を参照のこと。なお、本事業の実施に際しては、地球環境基金からの助成を得た。

#### 2) ESD人材育成研修

教室や限られた時空間の中ではなく、より社会の文脈の中に開発教育を引き寄せて、直接的に働きかけることはできないか、と考え、地域の課題への向き合い方や、地域の課題に取り組むファシリテーションのあり方などについて過去2年間研修会を行ってきた。

今年度は、研修会を振り返り、地域のファシリ

テーションについて考える「地域に向き合うファシリテーター」研究会を実施した。地域における開発課題解決のプロセスにどのように関わるのか、また、開発教育がこれまで大切にしてきた価値や視点を地域の課題解決プロセスにどのように生かすことができるのか、等を実践者の経験等を通して議論した。

またその中間報告として冊子を発行した。尚、本事業の実施に際しては地球環境基金からの助成を得た。

#### <地域に向き合うファシリテーター研究会>

##### 第1回

①本研究会のすすめ方とアウトプットについて

②議論の枠組みについて

③分析の試み（紋別の事例を参考に）

日時：8月5日（金）14時～18時

場所：DEAR資料室

参加者：8名

##### 第2回

①前回までの経緯と本日の流れ

②実践報告（5名、質疑応答含む）

③今後の進め方について

日時：9月10日（土）10時～17時

場所：富坂キリスト教センター1号館会議室

参加者：9名

##### 第3回

①前回までの経緯と本日の流れ

②ファシリテーター研修に必要な要素（ブレスト）

③ファシリテーター研修の経験共有

④今後の予定

日時：10月30日（日）10時半～17時半

場所：富坂キリスト教センター1号館会議室

参加者：9名

##### 第4回

①ファシリテーター研修プログラム案の共有と意見交換

②成果物について

③その他

日時：12月23日（金・祝）13：00～17：00

場所：富坂キリスト教センター1階会議室

参加者：12名

#### <冊子概要>

『「地域の問題解決を促進するファシリテーター」ハンドブック』

編集：地域に向き合うファシリテーター研究会メンバー

発行：開発教育協会

発行日：2012年3月30日

判型・頁数：テキストA4判・24頁

対象：地域に関わろうとするESD・開発教育実践者

#### 3) 東日本大震災支援事業

##### ①東北緊急募金の実施

3月11日に発生した東日本大震災の被害を受けて、東北地域に拠点を置いて支援活動を行なう3つの団体会員へ支援を行なうために「DEAR 東北緊急募金」を呼びかけ、2012年度末までに、968,080円が集まり、それぞれの団体へ寄付を行なった。被災者支援の活動規模を踏まえ、指定された場合を除いて配分は、IVY：地球のステージ：バニヤンツリーを6：2：2とした。

<寄付先>

▼認定NPO法人 国際ボランティアセンター山形（IVY）

寄付金額：582,048円

▼NPO法人 地球のステージ（宮城）

寄付金額：194,016円

▼NPO法人 バニヤンツリー（秋田）

寄付金額：192,016円

##### ②「東日本大震災から始まる学び」実践事例収集・ウェブ掲載など

震災後数カ月は、ブログで支援のあり方や現地の情報の発信を行なった。また、震災を振り返り、これからの社会を考えるチャリティ・ワークショップを3回開催し、参加費はDEAR東北緊急募金とした。

さらに、ウェブ上に「東日本大震災から始まる学び」を開設し、グローバル・エクスプレスの教材や関連資料を掲載した。教材をダウンロードした方には、どのような実践を行なったかのアンケートを実施し、多くの反応があった。さらに、各地の東日本大震災後の実践報告をウェブに掲載した。全国各地の震災や原発に関わる実践事例やアンケート結果について分析をした報告は『機関誌59号』等に掲載予定である。

尚、実践事例の分析等については、立教大学学

術推進特別重点資金「東日本大震災・復興支援関連研究」の研究費を利用し、実施した

## Ⅱ. 調査・研究事業

### 1) 「開発教育研究会」

開発教育の研究実践活動の質的な進化や向上に向けて、関連する教育的課題や今日的課題などに関する調査研究活動を行う。今年度は以下のような各部会を設置した。

#### ①「紛争解決教育」部会

紛争解決教育プログラムの日本の教育現場や地域社会での実践におけるカリキュラムの開発や、対象ごとのプログラムの体系化をすすめた。今年度は特に、学校現場で実施しやすいプログラム作りを考えた。また、学級づくり、学習環境づくりのためのワークやヒントを掲載した冊子『子どもとできる創造的な学級づくり』を作成した。

#### ②授業づくりサークル

小学校における開発教育の実践報告書『世界と私と未来をつなぐ授業づくり』を制作・発行した。さらに、東京、神奈川、埼玉において、実践報告セミナーを開催した。冊子はメンバー自身が自分たちの実践を振り返ってまとめる機会になったとともに、セミナーでは開発教育の授業づくりの際の重要な視点やすすめ方について議論し、経験共有をすることができた。なお、本事業の実施に際しては、東京ガス環境おうえん基金からの助成を得た。

### 2) 第29回「開発教育全国研究集会」の開催

8月6日(土)から7日(日)までの2日間の日程で、「JICA地球ひろば」(東京都渋谷区)を会場に全国研究集会を開催した。第1部「実践フォーラム」第2部「研究フォーラム」として2つの運営体制でおこなった。参加者数は講師や主催関係者を含めて270名。研究フォーラムのシンポジウムではオルタナティブな教育と開発教育のあり方について考えを深めた。なお、詳細に関しては別紙発行の報告書を参照のこと。

### 3) 研究誌『開発教育』の編集発行

第58号『オルタナティブな教育と開発教育』を8月に発行した。また、59号に関しては、今

までの研究誌のよい部分を残し、よりDEARの事業と実践研究を絡めて、会員間のコミュニケーションを図れる新しい形の機関誌として発行していくこととを検討した。

## Ⅲ. 情報・出版事業

### 1) 会報「DEARニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を今年度も年6回(偶数月)発行した。

#### <発行実績>

- ・第150号(発行:4月1日)  
特集「緊急寄稿 大震災からの「問い」とは何か？」
- ・第151号(発行:6月1日)  
特集「世界をめぐる電子ごみ」
- ・第152号(発行:8月1日)  
特集「東日本大震災からはじまる学び」
- ・第153号(発行:10月1日)  
特集「オルタナティブな教育と開発教育」
- ・第154号(発行:12月1日)  
特集「先住民族をめぐる課題とESD教材」
- ・第155号(発行:2月1日)  
特集「加速する油ヤシ・プランテーション開発」

### 2) 新規教材図書の新規編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の、企画編集や制作発行や増刷をおこなう。またそのために、引き続きその財源や出版社等との実施体制の確保に努めていく。

#### ①『世界と私と未来をつなぐ授業づくり』

授業づくりサークルで共有してきた小学校の授業実践をまとめた報告書。授業づくりのヒントや新学習指導要領の解説についても掲載されている。

#### <教材概要>

『世界と私と未来をつなぐ授業づくり～開発教育・ESDを教室へ』

企画・制作:授業づくりサークル

発行:開発教育協会

発行日:2011年11月15日

判型・頁数：テキストB5判・82頁  
対象：教員  
助成：東京ガス環境おうえん基金

## ② グローバル・エクスプレス「東日本大震災」の発行

3月11日の東日本大震災を受けて、震災を振り返り、これからの社会を考えるための「グローバル・エクスプレス」13号～15号教材をウェブ上で配信した。ダウンロード数は合計で1244件あり、多くの反響があった。また、ダウンロードをした方に寄付を募ったところ、43,125円の寄付があった。

### <教材概要>

『グローバル・エクスプレス 13号 東日本大震災』

発行：開発教育協会

発行日：2011年 4月

判型・頁数：A4判・9頁

ダウンロード数：604件

『グローバル・エクスプレス 14号 東日本大震災 世界からの援助』

発行：開発教育協会

発行日：2011年 6月

判型・頁数：A4判・8頁

ダウンロード数：396件

『グローバル・エクスプレス 15号 東日本大震災 社会を見つめ直す』

発行：開発教育協会

発行日：2011年 9月

判型・頁数：A4判・12頁

ダウンロード数：244件

## ③ 『もっと話そう！原発とエネルギーのこと』（試作版）

原発事故を受け、これからのエネルギーや原発について考える教材（試作版）を作成・発行した。会員に無料配布し、意見やフィードバックを集めて来年度正式に発行する予定。

### <教材概要>

『もっと話そう！原発とエネルギーのこと』

発行：開発教育協会

発行日：2012年 2月

判型・頁数：A4判・36頁

## ④ その他図書教材の編集企画・編集協力

上記以外にも図書・教材・資料等の編集企画を進めるとともに、当会関係者による出版企画に対して協力していく。また、既存の教材で在庫が少ないものを改訂・増刷発行を行なった。

『パーム油のはなし』 300部

『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第3版』 2000部

『開発教育実践ハンドブック 参加型で世界を感じる』 500部

## ⑤ 既存教材の無料ダウンロード

教材『レヌカ学び～自分の中の異文化を知る』（原作：土橋泰子）は2004年の発行以来販売していたが、広く活用してもらうためにウェブからの無料ダウンロードを4月より開始し、367件のダウンロードがあった。ダウンロードした方に寄付を募ったところ、32,770円の寄付があった。

## 3) 出版物販売

当会発行の教材・図書資料の他、関係団体からの委託図書などを販売し、自己財源の強化を図った。また、教職員免許更新の講座を持つ大学向けに書籍購入のDMを送付した。

## 4) 広報資料作成

### ① ウェブサイトの運営

開発教育ポータルサイトとしてウェブサイトでの情報発信を行った。

<2011年4月～2012年3月>

・102,499 セッション 前年：77,874 (31%増)  
→約10万人が訪問

・350,239 ページビュー 前年：285,255 (22%増)

・3.42 平均ページビュー 前年：3.66

・02:23分 平均サイト滞在時間 前年：03:01

・67.98% 新規セッション率 前年：64.19%

### ② スタッフ・ブログの運営

<2011年4月～2012年3月>

・4,107セッション 前年：5,278

・6.943ページビュー 前年：8,659

・1.69平均ページビュー 前年：1.64

・1:20分 平均サイト滞在時間 前年：1:38

・68.47% 新規セッション率 前年：54.96%

### ③震災特設ブログの運営

<2011年3月～同年10月で終了>

震災支援情報や教材、イベントのレポートなどを掲載した。10月を持って、ホームページとスタッフ・ブログに引き継ぎ更新を終了した。

- ・ 2,797セッション
- ・ 4,429ページビュー
- ・ 1.59平均ページビュー
- ・ 1:23分 平均サイト滞在時間
- ・ 79.23% 新規セッション率

### ④メールマガジンの発行

毎月1回のメールマガジンの発行を開始し、主催事業や資料の情報を発信した。3月末現在1,690名（前年比+460名）が登録している。

### ⑤ツイッターの開設

2011年11月16日にツイッターを導入（アカウント名は@ngoDEAR）。イベント情報や教材関連情報を中心にツイートしている。

3月のフォロワー数：158

### ⑥資料請求者への対応

ウェブサイト上から無料で資料請求を開始した。全国から請求があり、81件（前年比+9件）に対応している。

## IV. 研修・講座事業

### 1) 講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校／大学・自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依頼に対して、DEARの役職員等を講師として計75件129回派遣した。依頼先は大学や自治体、NGOなどが多く、内容は「震災からの学び」や、「100人村」が多かった。詳細は資料編を参照。

### 2) 教材体験フェスタ2012

当会のオリジナル教材等を使ったワークショップ体験を目的とする標記フェスタを、12年3月24日（土）、25日（日）に、JICA地球ひろばにて開催した。関係者を含め約300人の参加があった。参加者の多くが現場を持つ実践者であり、新

年度以降の授業や学習会のヒントを持ちかえた。

### 3) 対立から学ぶワークショップ

CR教育研究会の活動と平行して『子どもとできる創造的な対立解決』を活用したワークショップを開催し、計30名の参加があった。実際に教室で活用するための工夫や問いかけについて議論を深めた。尚、夏の研修会は、人数が集まらず、今回は中止とした。

「子どもとできる創造的な対立解決」を使った実践ワークショップ

第1回：5月21日（土）13:00～17:00

第2回：11月23日（祝）13:00～17:00

会場：富坂キリスト教センター1号館

講師：藤木優子（高校教員）・吉田直子（大学院生）

内容：第1回「肯定的な教室をつくる」「ステレオタイプ」

第2回「感情を表現する」「嫌いな気持ちと偏見」

### 4) 授業づくりサークル

授業づくりサークルの研究活動と平行して下記の講座を開催し、各回30名前後の参加があった。第1部で2つの実践報告と、第2部で講義&話し合い、を行なった。第1部ではメンバー自身の実践報告を通して参加者と授業づくりの視点や課題を議論した。第2部では、講師から授業づくりや学校と地域との連携等の課題提起をしていただき、参加者と話し合った。開発教育・ESDの授業づくりについて、様々な視点から意見共有する貴重な機会となった。

■東京開催：11月19日（土）13:00～17:00

会場：上智大学

第1部実践事例報告

A「微生物からつながる世界～水・ごみ・食べ物から持続可能な生活のあり方を考える」

発表者：島田晶子（小学校教員）

B「世界とつながる私たちの暮らし～パーム油から“地球／人にやさしい”を考える」

発表者：加藤英嗣（小学校教員）

第2部講演

講師：千葉保（國學院大学講師、DEAR評議員）

参加者：38名

■埼玉開催：2012年1月21日（土）13：00～17：00

会場：さいたま市民文化センター

第1部実践事例報告

A「東北の12歳は、今～東日本大震災から首都圏の子どもは何を学べるか」

発表者：小玉敏也（小学校教員）

B「わがまちプロジェクト～持続可能なまちづくりに挑む実践の継承と更新」

発表者：加藤英嗣（小学校教員）・小林祐一（北区教育委員会）

第2部講演

講師：岩川直樹（埼玉大学）

参加者：26名

■神奈川開催：2012年2月18日（土）13：00～17：00

会場：JICA横浜

第1部実践事例報告

A「ストリートチルドレンになってみよう～体験的理解と本来の援助について考える」

発表者：原郁雄（小学校教員）

B「マレーシアから学ぼう！生物多様性、そして森林問題」

発表者：秦さやか（小学校教員）

第2部講演

講師：山西優二（早稲田大学、DEAR理事）

参加者：28名

## 5)「開発教育連続セミナー2011」

<主管：大阪事務所>

今年度は「“ちがいに気づく”ことからはじまる豊かな社会」をテーマに、全5回のセミナーを以下の通り実施した。また、連続セミナーの過去参加者が講師となるなど、ファシリテーター養成にも力を入れた。

<開催実績>

日程：下記の通り

会場：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）

共催：(財)大阪国際交流センター／JICA大阪センター

●第1回：9月4日（日）10：00～16：00

「自分を見つめ、人とつながるコミュニケーショントレーニング」

講師：樋栄ひかる氏（Ena Communication）

参加者：45名

●第2回：11月13日（日）13：30～16：30

「ありのままを受け入れるために「思い込み」と「見えないちがい」に気づく」

講師：佐藤友紀氏（関西セミナーハウス開発教育研究会）

広野 ゆい氏（発達障害をもつ大人の会）

参加者：35名

●第3回：特別編「教材体験フェスタ」

<日時>12月17日（土）10：00～15：30

<内容>

1コマ目 10：30～12：30

A 貿易ゲーム（基本編）／B地球の食卓～おやつで元気／C「言葉がわからない」体験ゲーム  
何が起こった？（震災編）／D

アフリカの多様性～アフリカのイスラム

2コマ目 13：30～15：30

E ロールプレイで学ぶTPP／F 世界の家族／  
G「カルタ わたしん家の食事から」H 考えてみよう！協力のカタチ

参加者：90名

●第4回：2012年1月15日（日）13：30～16：30

「今そこにある多文化～在日外国人との共生社会を考える」

講師：北村広美氏（多文化共生センターひょうご）

参加者：30名

●第5回：2012年2月12日（日）13：30～16：30

「多様な人々をつなぐ関係づくり 実践的アクションプランニング」

講師：岡田祥一氏（開発教育ファシリテーターグループ）佐藤友紀氏（DEAR大阪）

参加者：30名

## 6)各種講座

①「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月1回、計11回、165名の参加者を得て開催した。

②「チャリティ・ワークショップ」

3月11日の東日本大震災を受けて、震災を振り返り、様々な問題や課題を話し合い、これからの

社会を考えるためのワークショップを3回開催した。参加費は一部経費を除き、DEAR東北緊急募金とした。

●第1回：4月2日（土）13：00～17：30

会場：ガールスカウト会館

内容：世界がもし100人の村だったら

講師：上條直美

グローバル・エクスプレス

「東日本大震災」

講師：井手将夫、本山明

参加者：80名

●第2回：4月29日（金・祝）13：00～17：30

会場：ガールスカウト会館

内容：世界がもし100人の村だったら

講師：上條直美

グローバル・エクスプレス

「東日本大震災」

講師：西あい・八木亜紀子

参加者：80名

●第3回：6月25日（土）13：00～17：30

会場：富坂キリスト教センター1号館

内容：地球の食卓

講師：八木亜紀子

グローバル・エクスプレス

「東日本大震災」

講師：中村絵乃

参加者：12名

③「Talk & Workshop 3.11以後を生きる」

米国の軍縮教育家であるキャサリン・サリバン氏を招き、標記ワークショップを開催した。3.11の震災を振り返り、様々な不安を共有し、これからの社会を一緒に考えるワークショップを実施した。

日程：11月13日（土）

場所：富坂キリスト教センター1号館

講師：キャサリン・サリバン（核問題専門家・軍縮教育家）

通訳：安原はづき

参加者：30名

## 7) 他団体との共催・協力事業

「日本YMCA同盟」の研修事業や「立教大学ESDセンター」の事業に協力したほか、他団体

が主催する7件の事業を後援した。

①立教大学ESD研究センターとの協働事業

次のような同センターの主催事業等の実施に際して、企画運営や教材の編集などの形でこれに共催・協力した。

・ESD人材育成セミナー

日程：2011年9月20日～21日

場所：アジア学院

内容：I S D E P（持続可能教育促進研究所）から講師を招き、アジア学院の研修生に対して研修会を開催した。

②日本YMCA同盟「地球市民教育カリキュラム」

今年度、夏の研修会は開催しなかったが、過去参加者や関心層を対象にした夏のプログラムの内容や概要について助言し、カリキュラムの作成、研修運営に協力した。

③エネルギー勉強会連続講座の共同開催

原子力発電の構造（どこから来てどこへいくのか）や、原発輸出の現状と問題点を考えるエネルギー勉強会連続講座を以下の団体と共催で開催した。

共催：（特活）アーユス仏教国際協力ネットワーク、（特活）APLA、（特活）日本国際ボランティアセンター、（特活）メコンウォッチ

協力：（特活）アジア太平洋資料センター／PARC

第1回「原発、そもそもどこから？そしてどこへ？ーマスコミが報道しない、原発のフシギ」

日時：2012年1月28日（土）13：00～17：00

会場：日本大学法学部三崎町キャンパス2号館

講師：細川弘明（京都精華大学）

内容：DVD『ハード・レイン』と『原発、ほんまかいな？』（どちらもPARC）の映像をみながら、原発の構造について解説。参加者の意見交換。

参加者：40名

第2回「差し上げます「便利」と「安全」ーオールジャパンで原発輸出（危険と不安のおまけつき）」

日時：2012年2月11日（土）13：00～17：00

会場：早稲田奉仕園リバティホール

講師：田辺有輝（「環境・持続社会」研究センター/JACSES）

満田夏花 (FoEJapan、メコン・ウォッチ)  
内容：原子力発電所の輸出について、その背景と  
問題点について学ぶ。  
参加者：40名

## V. 政策提言事業

### 1) 行政に対する政策提言

① NGO-JICA協議会 開発教育分科会の設  
置と参加

NGO-JICA協議会のなかに、「開発教育/  
国際理解教育に係る連携強化のための分科会」を  
設置し、5回の会議を開催し、NGOとJICA  
の連携について話し合った。5回目には今までの  
話し合いを元に地域での開発教育の支援の実施を  
提案する提言書を作成した。

第1回

日時：6月16日(木) 13:00~15:00  
場所：JICA 地球ひろば

- ①分科会設置の経緯・目的等の再確認
  - ②連携強化を検討するにあたっての現状認識
  - ③連携強化に向けたアイデア
- 参加者：NGO側 3名 JICA側 8名

第2回

日時：9月9日(金) 10:30~12:40  
場所：JICA 地球ひろば

- ①連携強化に向けたアイデア
  - ②次回地域開催について
  - ③最終的なゴールについて
- 参加者：NGO側 4名 JICA側 6名

第3回 地域開催

日時：11月24日(木) 14:00~15:00  
地域会議 15:30~18:00  
場所：ひろしま国際センター

- ①中国地方におけるNGO-JICAの情報交流
  - ②NGO-JICAの連携・協働の現状と課題の共有
- 参加者：NGO側 14名 JICA側 15名

第4回

日時：2012年1月16日(月) 10:00~12:00  
場所：JICA 地球ひろば

- ①地域開催のふりかえり

②提言書についての意見交換  
参加者：NGO側 4名 JICA側 6名

第5回

日時：2012年2月22日(水) 13:00~15:00  
場所：JICA 本部

①提言書について  
参加者：NGO側 4名 JICA側 6名

### 2) キャンペーンへの協力

「動く→動かす」(G-CAP Japan)や教育  
協力NGOネットワーク(JNNE)正会員とし  
てMDGsの実現や基礎教育の推進などに向けた  
意識喚起のキャンペーンに積極的に参加し、キャン  
ペーンツールや研修へ協力をした。特にスタン  
ド・アップキャンペーンに関しては、事務局次長  
の西がパブリックモビリティチームのリー  
ダーとして、広報や意識喚起のための研修やプロ  
ジェクト実施を担った。

①「世界中の子どもに教育を」キャンペーン  
2011

テーマ：世界一大きな授業「女の子と女性の教  
育」  
日程：2011年4月18日~24日  
協力内容：教員の手引の作成、助言、広報

②スタンド・アップ キャンペーン

日程：2011年10月1日~17日  
協力内容：スタンド・アップキャンペーン授業  
ワークシート、解説編の作成、広報

## VI. 組織強化事業

### 1) 設立30周年事業

①30周年誌作成

59号機関誌の特集を「30周年記念」とし、会  
員アンケートを実施したり、特に20周年からの  
10年間をテーマごとに振り返ることを軸に特集  
を組み準備をすすめた。2012年12月に発行する  
予定。

②30周年記念事業準備

12月8日(土)に、30周年記念事業のシンポ  
ジウムを開催するための企画や準備を進めた。

### ③ 30周年記念募金の実施

DEARの活動を広げ、参加者や支援者を増やすために、また、組織強化を図るために30周年記念募金を実施した。そのためのウェブやチラシ案を作成し、広報を始めた。

## 2) 会員拡大

### ① 会員拡大検討委員会の実施

30周年を迎えるにあたり、新規会員を増やしていくための戦略を考える会議を開催した。書籍購入者やセミナー参加者、過去会員などに対してメールでのDMを送ったり、2月から早期で入会できる新規入会キャンペーンを実施した。

## 3) 就業規則等整備事業

事務局職員の労働環境や福利厚生改善を目的として、社会保険労務士の助言指導の下で就業規

則や諸規程の作成・改訂・整備を行った。職員・理事向けにワークライフバランスについての研修や職員向けに新しい就業規則についての説明会も行った。

尚、本事業は東京都両立支援助成金を得た。

### <ワーク・ライフ・バランス研修>

日時：2011年10月22日（土）10：30～12：30

場所：富坂キリスト教センター 1号館

内容：ワーク・ライフ・バランスとは  
職場における課題、など

講師：大野大平（社会保険労務士）

参加者：理事4名 職員6名

### <就業規則・諸規程改訂説明会>

日時：2012年2月6日（月）15：00～17：00

場所：DEAR 資料室

内容：就業規則の改訂事項解説

講師：大野大平（社会保険労務士）

参加者：職員6名

## 処務の概要

### ● 1：会員に関する事項

2012年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年末比の数字。

正会員 団体 28団体（+0団体）

個人 453名（+1名）

賛助会員 団体 14団体（-2団体）

個人 228名（-12名）

（内学生会員：36名）（-4名）

<参考> 団体会員 42団体（-2団体）

個人会員 681名（-11名）

### ● 2：役員に関する事項

（註：役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。）

### <代表理事>

岩崎裕保（帝塚山学院大学）

### <副代表理事>

上條直美（立教大学）

湯本浩之（立教大学）

### <常任理事>

田中浩平（（財）千葉YMCA）

山西優二（早稲田大学）

### <理事>

阿部真理子（（特活）国際ボランティアセンター山形（IVY））

大江 浩（（社）日本キリスト教海外医療協力会）

斎藤 聖（（特活）地球の木）

佐藤友紀（DEAR大阪）

佐渡友哲（日本大学）

筒井哲朗（（特活）シャプラニール＝市民による海外協力の会）

浜本裕子（YMCA学院高等学校）

韓 朱仙 ((特活)コモンビート)  
藤野達也 ((財)PHD協会)  
本山 明 (公立中学校教員)  
中村絵乃 ((特活)開発教育協会)

<監事>

重田康博 (宇都宮大学)  
山崎唯司 ((独)国際協力機構広尾センター)

<評議員>

阿久澤麻理子 (大阪市立大学大学院)  
磯田厚子 ((特活)日本国際ボランティアセンター  
／女子栄養大学)  
伊藤通子 (とやま国際理解教育研究会(T I E))  
榎井 縁 ((財)とよなか国際交流協会)  
黒田かをり (CSOネットワーク)  
黒田貴史 (明石書店)  
嵯峨創平 ((特活)環境文化のための対話研究所)  
白木朋子 ((特活)ACE)  
田中治彦 (上智大学)  
田中 博 (参加型評価ファシリテーター)  
千葉 保 (國學院大学非常勤講師)  
椿原 恵 (コミュニティコミュニケーション・サ  
ポートセンター(Commu))  
永田佳之 (聖心女子大学)  
中野民夫 ((株)博報堂)  
長畑 誠 ((社)あいあいネット)  
奈良崎文乃 (国際NGO職員)  
贄川恭子 ((特活)WE21ジャパン)  
ヘッセ杉山ナオコ (生涯学習・異世代異文化コミュ  
ニケーション・コーディネーター)  
松本智量 ((特活)アユス=仏教国際協力ネット  
ワーク)  
三輪敦子 (ユニフェム大阪)  
諸英樹 (ニュー・インターナショナルリスト)  
横山由利亜 ((財)日本YMCA同盟)

● 3 : 会員総会に関する事項

2011年度定期会員総会

と き : 5月28日(土)  
ところ : 立教大学12号館 第1会議室  
議 案 :  
第1号議案 2010年度事業報告および収支報  
告について  
第2号議案 2011年度事業計画および収支予  
算について  
第3号議案 定款の変更について

<第2部>

ディスカッション

「開発教育の役割と課題～東日本大震災を受けて」

● 4 : 理事会に関する事項

第1回理事会

と き : 5月28日(土)  
ところ : 立教大学池袋キャンパス 12号館  
第1会議室  
議 案 :

<報告・協議>

- 1) 各種委員会の設置および委員選任
- 2) 企画推進委員の委嘱
- 3) その他

第2回理事会

と き : 10月22日(土)  
ところ : 富坂キリスト教センター1号館会議室  
議 案 :  
<協議>

- 1) 上半期の事業報告・収支報告
- 2) 下半期事業計画
- 3) 研究誌について
- 4) 30周年記念事業について
- 5) 原発に対するDEARの意思表示について
- 5) その他

第3回理事会

と き : 3月2日(金)  
ところ : 立教大学5号館2階5215教室  
議 案 :

- 1) 2011年度の事業報告・収支報告
- 2) 2012年度事業計画・収支予算案
- 3) 中期方針評価と次期中期方針作りについて
- 4) その他

第4回理事会

と き : 4月28日(土)  
ところ : 富坂キリスト教センター1号館会議室  
議 案 :

- 1) 2011年度の事業報告案・収支報告案について
- 2) 2012年度の事業計画案・収支予算案について
- 3) 2012-13年度役員候補者について
- 4) 認定NPO法人について
- 5) その他

● 5. 評議員会に関する事項

## 第1回評議員会

と き：7月9日（土）

と ころ：富坂キリスト教センター1号館会議室

議 案：

### 1) DEAR報告：

- ①2010年度事業報告
- ②2011年度事業計画
- ③理事候補者選考委員会設置について

### 2) 協 議：グループディスカッション

- ①東日本大震災後のコミュニティづくり  
報告・課題提起：須藤伸子氏（仙台国際交流協会  
／SIRA）
- ②今後のDEARの活動について
- ③その他

## 第2回評議員会

と き：1月14日（土）

と ころ：立教大学太刀川記念館 第1第2会議室

### 1) DEAR報告：

- ①2011年度事業報告
- ②2012年度事業計画
- ③理事候補者選考委員会報告
- ④評議員の任期について

### 2) 協 議：グループディスカッション

- ①東日本大震災被災地復興支援について  
報告・課題提起：阿部眞理子氏（国際ボランティア  
センター山形／IVY）
- ②今後のDEARの活動について
- ③その他

## ●6：各種委員会に関する事項

本年度は、次のような各種委員会が理事会内に設置され、当会の運営や事業について協議を行った。

（註：各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。）

### 1) DEAR大阪運営委員

委員長：藤野達也（（財）PHD協会）

委員：阿久澤麻理子（大阪市立大学大学院）／荒川共生（マイ・チケット）／岩崎裕保（帝塚山学院大学）／内田弘志（YMCA総合研究所）／大森容子（（財）滋賀県国際協会）／佐藤友紀（高校教員）／談儀善弘（高校教員）／友前尚子（小学校教員）／仲川順子（地球市民フォーラムなら）／永井道子（（財）神戸YMCA）／浜本裕子（YMCA学院高等学校）／榛木恵子（（特活）関西NGO協議会）

／丸山まり子（小学校教員）／三輪敦子（ユニフェム大阪）／山中信幸（柳学園中学校・高等学校）

### 2) 機関誌「開発教育」編集委員会

委 員：磯野昌子（かながわ開発教育センター）／上條直美（立教大学）／近藤牧子（早稲田大学）／斎藤聖（高校教員）／佐渡友哲（日本大学）／奈良崎文乃（国際協力NGO）／ヘッセ杉山ナオコ（生涯学習・異世代異文化コミュニケーション・コーディネーター）

<会議詳細>

第1回編集委員会 11月21日

と ころ：DEAR 資料室

第2回編集委員会 12月19日

と ころ：DEAR 資料室

第3回編集委員会 1月16日

と ころ：DEAR 資料室

第4回編集委員会 2月13日

と ころ：DEAR 資料室

第5回編集委員会 3月22日

と ころ：DEAR 資料室

●7. 企画推進委員会および企画推進会議に関する事項（註：企画推進委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。）

### 1) 企画推進委員

委員長：阿部秀樹（会社員）

副委員長：石川一喜（拓殖大学）

委員：鈴木隆弘（清和大学）／米井慎一（私立小学校教員）

### 2) 企画推進会議

第1回企画推進会議 9月13日（火）

と ころ：DEAR資料室

第2回企画推進会議 12月12日（月）

と ころ：DEAR資料室

第3回拡大企画推進会議 2月26日（日）

と ころ：富坂キリスト教センター1号館 会議室

## ●8：プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のようなプロジェクト・チームが企画推進委員会内に設置され、各事業や活動の企画運営にあたった。

### ①開発教育研究会

a) 「紛争解決教育研究会」部会

b) 「授業づくりサークル」部会（リーダー：本山

明)

②第29回「開発教育全国研究集会」実行委員会（実行委員長：石川一喜）

③機関誌「開発教育」編集委員会

④会報「DEARニュース」編集委員会（リーダー：阿部秀樹）

⑤「開発教育入門講座」

⑥グローバル・エクスプレス」（リーダー：石川一喜）

●9：職員に関する事項

<事務局>

事務局長 中村 絵乃（有給・常勤・専従）

事務局長次長 西 あい（有給・常勤・専従）

事業担当 八木 亜紀芽上（有給・非常勤・嘱託）

事業担当 宮崎 花衣（有給・非常勤・嘱託）

経理・総務担当 大久保 美智彦（有給・非常勤・嘱託）

総務担当 中田 洋子（有給・非常勤・嘱託）

<大阪事務所>

所長 佐藤 友紀（無給・非専従）

次長 浜本 裕子（無給・非専従）

●10：インターン・ボランティアに関する事項

今年度に事務局で受け入れを行ったインターン・ボランティアは次の通り。

<事務局インターン>

小野留理花（社会人、2011年4月～2011年8月）

大原 幸（英国イーストアングリア大学、2011年6月～8月）

末永知実（社会人、2011年9月～2012年3月）

岩月理沙（中央大学、2012年1月～3月）

<事務局ボランティア>

滝本雅章（社会人、2011年4月～2012年3月）

逆瀬川愛貴子（一橋大学、2011年4月～2012年3月）

伊藤令華（東京外国語大学、2011年8月～2012年3月）

加藤優子（上智大学、2011年10月～2012年3月）

大塚景子（社会人、2012年1月～3月）

小畑秀美（東京国際大学、2012年2月～3月）

西平久美子（社会人、2011年4月～2011年8月）

また、第29回開発教育全国研究集会には45名、教材体験フェスタには40名のボランティア参加があった。

●11：会員団体

今年度DEARが会員として参加した団体は次の通

り。

<正会員>

・（特活）国際協力NGOセンター（JANIC）

・教育協力NGOネットワーク（JNNE）

・（特活）「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J）

・「動く」→「動かす」

・アジア南太平洋基礎・成人教育協議会（ASPBAE）

<準会員>

・（特活）関西NGO協議会

以上

## <資料1> 出版・編集・取材協力 など

### <雑誌>

- ①「悠+ (はるか・プラス)」(2011年8月)  
発行：(株)ぎょうせい  
内容：monthly informationで教材「グローバル・エクスプレス—東日本大震災・世界からの援助」の紹介
- ②「新英語教育」(2011年8月)  
発行：三友社出版  
内容：特集・巻頭論文に「CR教育の実践と可能性～教師自身が学ぶ機会を」を寄稿
- ③「遥+ (はるか・プラス)」(2011年6月)  
発行：(株)ぎょうせい  
内容：グローバル・エクスプレス—2010年ワールドカップの紹介
- ④「生涯学習 10月号」(2011年10月)  
発行：文部科学省編集協力／国政情報センター  
内容：生涯学習を仕事にするコーナーで事務局長の中村の紹介
- ⑤「じっきょう 家庭科資料 47号」(2011年10月)  
発行：実教出版株式会社  
内容：巻頭に「私たちの生活と世界のつながりを学ぶ～開発教育のすすめ」を寄稿
- ⑥「自治体国際化フォーラム 第265号」(2011年11

月)

- 発行：(財)自治体国際化協会  
内容：特集に「持続可能な社会をつくる市民を育む」第2特集に「キャンペーンを通じた国際理解教育」を寄稿
- ⑦「食農教育 12月号」(2010年11月)  
発行：(社)農山漁村文化協会  
内容：教材『地球の食卓』の紹介
- ⑧「教育 12月号」(2011年12月)  
発行：教育科学研究会編 国土社  
内容：特集に「グローバリゼーションと開発教育」を寄稿

### <新聞>

- ①山梨日日新聞(2011年12月18日)  
題目：「世界の経済格差や食料事情を考える」  
内容：山梨県甲府市で開催したワークショップの様子

### <ニュースレター>

- ①「ESDレポート vol.23」(2012年3月)  
発行：持続可能な開発のための教育の10年推進会議  
内容：「東日本大震災から始まる被災地外での学び」を寄稿

以上

- 1「アーユス合宿」 (2011.4.13 /計2回)  
 主催：(特活)アーユス仏教国際協力ネットワーク  
 内容：震災からの学び  
 対象：僧侶、NGOスタッフ  
 派遣者：西あい(事務局次長)・宮崎花衣(事務局員)
- 2「新入社員研修」(2011.4.21)  
 主催：双日株式会社  
 内容：100人村  
 対象：新入社員  
 派遣者：上條直美(理事)
- 3「新入生オリエンテーション」 (2011.4.20/計8回)  
 主催：流通経済大学  
 内容：お互いを知りあう/新・貿易ゲーム  
 対象：新松戸校 経済学部新入生  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)・西あい(事務局次長)・八木亜紀子(事務局員)・宮崎花衣(事務局員)
- 4「新入生オリエンテーション」 (2011.4.21/計4回)  
 主催：流通経済大学  
 内容：お互いを知りあう/新・貿易ゲーム  
 対象：龍ヶ崎校 経済学部新入生  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)・西あい(事務局次長)・宮崎花衣(事務局員)・石川一喜(企画推進員)・小野留理花(ボランティア)
- 5「福祉教育特別ワークショップ」 (2011.5.13)  
 主催：長野県社会福祉協議会  
 内容：グローバル・エクスプレス「東日本大震災」  
 対象：教員、市町村社会福祉協議会ボランティアコーディネーター  
 派遣者：八木亜紀子(事務局員)
- 6「品川シルバー大学いきいきコース」(2011.5.8)  
 主催：品川区/品川シルバー大学  
 内容：100人村  
 対象：シルバー大学2,3年生(区内在住の60歳以上の方)  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)・小野留理花(ボランティア)・西平久美子(ボランティア)
- 7「京都市市立中学校高等学校家庭科研究会」(2011.5.20)  
 主催：京都市市立中学・高等学校家庭科研究会  
 内容：地球の食卓ほか  
 対象：家庭科教員  
 派遣者：佐藤友紀(理事)
- 8「全学共通カリキュラム総合 B 科目：ESDの理念と実践」(2011.5.25)  
 主催：立教大学  
 内容：100人村  
 対象：大学生  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)・逆瀬川愛貴子(ボランティア)
- 9「全学共通カリキュラム総合 B 科目：ESDの理念と実践」(2011.6.8)  
 主催：立教大学  
 内容：震災からの学び  
 対象：大学生  
 派遣者：西あい(事務局次長)・逆瀬川愛貴子(ボランティア)
- 10「平成23年度開発教育実践者セミナー」(2011.6.11)  
 主催：JICA北陸支部  
 内容：開発教育入門  
 対象：教員  
 派遣者：岩崎裕保(理事)
- 11「藤沢市小学校教育研究会 国際部 6月部会」(2011.6.13)  
 主催：藤沢市小学校教育研究会国際教育部  
 内容：対立から学ぶ  
 対象：小学校教員  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)・清水千絵(ボランティア)
- 12「仏教学部授業」 (2011.6.15)  
 主催：立正大学  
 内容：100人村  
 対象：大学生  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)・逆瀬川愛貴子(ボランティア)
- 13「聖ヨゼフ学園 総合学習」 (2011.6.13)  
 主催：聖ヨゼフ学園  
 内容：100人村  
 対象：中学2年生  
 派遣者：西 あい(事務局次長)・小野留理花(ボランティア)・西平久美子(ボランティア)
- 14「開発教育指導者セミナー」 (2011.6.18)  
 主催：JICA横浜  
 内容：開発教育入門  
 対象：教員  
 派遣者：湯本浩之(理事)
- 15「鎌倉女学院高校 研修会」 (2011.6.18/計2回)  
 主催：(財)かながわ国際交流財団  
 内容：パーム油  
 対象：高校生  
 派遣者：宮崎花衣(事務局員)
- 16「鎌倉女学院高校 研修会」 (2011.6.18/計2回)  
 主催：(財)かながわ国際交流財団  
 内容：どうなる中国  
 対象：高校生  
 派遣者：西 あい(事務局次長)
- 17「聖ヨゼフ学園 総合学習」 (2011.6.20)  
 主催：聖ヨゼフ学園  
 内容：新・貿易ゲーム  
 対象：高校生  
 派遣者：西 あい(事務局次長)・小野留理花(ボランティア)・西平久美子(ボランティア)
- 18「パル家計パートナー養成講座」(2011.6.21)  
 主催：パルシステム共済連  
 内容：新・貿易ゲーム  
 対象：パル生協組合員  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)・中田洋子(事務局員)・大原幸(インターン)
- 19「寿小学校授業」(2011.6.29/計4回)  
 主催：水戸市教育委員会 好文カレッジ  
 内容：100人村  
 対象：小学6年生  
 派遣者：八木亜紀子(事務局員)・宮崎花衣(事務局員)
- 20「YMCA地球市民育成講座」(2011.7.4-6/計3回)  
 主催：アジア太平洋YMCA  
 内容：地球市民育成・貿易ゲームなど  
 対象：YMCAボランティア  
 派遣者：中村絵乃(事務局長)
- 21「平成23年度開発教育実践者セミナー」(2011.7.9)  
 主催：JICA北陸支部  
 内容：参加型学習  
 対象：教員

派遣者：佐藤友紀（理事）

22「夏の親子国際理解教育セミナー」（2011.7.16）

主催：豊田市国際交流協会

内容：地球の食卓

対象：一般、親子

派遣者：宮崎花衣（事務局員）

23「麻生区多文化共生推進事業」（2011.7.30）

主催：川崎市麻生区役所 生涯学習支援課

内容：100人村

対象：小学生からシニア

派遣者：宮崎花衣（事務局員）

24「全国YMCA国際研修会」（2011.7.31）

主催：（財）日本YMCA同盟

内容：100人村

対象：大学生・YMCAスタッフ

派遣者：西あい（事務局次長）

25「沖縄県教員研修会」（2011.8.1）

主催：沖縄県教育委員会

内容：講演：ESDの推進

対象：教員

派遣者：中村絵乃（事務局長）

26「対立から学ぶワークショップ」（2011.8.2）

主催：（特活）沖縄NGOセンター、青年海外協力協会ほか

内容：対立から学ぶ

対象：教員・一般

派遣者：中村絵乃（事務局長）

27「日本語指導者養成講座」（2011.8.3）

主催：横浜市教育委員会指導企画課

内容：100人村

対象：小・中学校教員、日本語教員

派遣者：西あい（事務局次長）

28「国際教育セミナー」（2011.8.4）

主催：JICA大阪

内容：国際協力

対象：教員・一般

派遣者：佐藤友紀（理事）

29「国際理解ワークショップ」（2011.8.6）

主催：（財）岡山国際交流協会

内容：ケータイの一生

対象：教員・一般

派遣者：山中信幸（DEAR 大阪運営委員）

30「多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー」（2011.8.8）

主催：JICA兵庫

内容：今と未来を考えよう

対象：教員・一般

派遣者：佐藤友紀（理事）

31「多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー」（2011.8.9）

主催：JICA兵庫

内容：ケータイの一生

対象：教員・一般

派遣者：向井一朗（企画推進委員）

32「人権教育研修会」（2011.8.9）

主催：厚木市教育委員会 学校教育課

内容：対立から学ぶ

対象：小学校中学校教員 人権教育担当者

派遣者：中村絵乃（事務局長）・清水千絵（ボランティア）

33「松阪伊勢ミニ人権大学講座」（2011.8.18）

主催：（財）反差別・人権研究所みえ

内容：人権ワークショップ

対象：教員、行政職員、一般

派遣者：山中信幸（DEAR大阪運営委員）

34「教員のためのJICA地球ひろば研修」（2011.8.19）

主催：（独）国際協力機構広尾センター

内容：100人村・地球の食卓

対象：教員

派遣者：中村絵乃（事務局長）・大原幸（インターン）

35「JICA国際協力推進員会議」（2011.8.24）

主催：（独）国際協力機構広尾センター

内容：問題の共有・ファシリテーター養成

対象：国際協力推進員

派遣者：中村絵乃（事務局長）

36「YMCA地球市民育成プロジェクト」（2011.8.27-28/計2回）

主催：（財）日本YMCA同盟

内容：震災から始まる学び・ファシリテーター養成

対象：大学生・ユース

派遣者：中村絵乃（事務局長）

37「ユニセフセミナー大阪2011」（2011.8.28）

主催：大阪ユニセフ協会

内容：グローバル・エクスプレス「世界からの援助」ほか

対象：教員・一般・学生

派遣者：八木亜紀子（事務局員）

38「国際理解教育・開発教育セミナー」（2011.8.28）

主催：JICA四国・国際理解の風をつくる会

内容：グローバル・エクスプレス「世界からの援助」ほか

対象：教員・大学生

派遣者：西あい（事務局員）

39「東日本大震災から始まる学び」（2010.9.2）

主催：（公財）日本ユニセフ協会

内容：震災から始まる学び

対象：ユニセフ協会ボランティア

派遣者：八木亜紀子（事務局員）

40「地球市民育成事業講師研修会」（2011.9.2）

主催：埼玉県国際交流協会

内容：レヌカの学び

対象：協会登録日本人講師、外国人講師

派遣者：西あい（事務局次長）・中田洋子（事務局員）

41「龍谷大学国際NGO論」（2011.10.5）

主催：（特活）関西NGO協議会

内容：国際協力論

対象：大学生

派遣者：佐藤友紀（理事）

42「大田区生活展消費者講座」（2011.10.15）

主催：大田区生活展実行委員会・大田区

内容：100人村

対象：一般

派遣者：中村絵乃（事務局長）

43「国際貢献・協力セミナー」（2011.10.16）

主催：（財）岡山県国際交流協会

内容：グローバル・エクスプレス「世界からの援助」

対象：教員・一般

派遣者：八木亜紀子（理事）

44「国際理解ウィーク」（2011.10.25-26 / 計2回）

主催：大森高校定時制

内容：貿易ゲーム・ケータイの一生

派遣者：中村絵乃（事務局長）・宮崎花衣（事務局員）・伊藤

令華（ボランティア）・逆瀬川愛貴子（ボランティア）・三宅

麻子（ボランティア）

45「東南アジア青年の船」（2011.11.2）

主催：（財）青少年国際交流推進センター

内容：新・貿易ゲーム  
対象：ASEANの若者  
派遣者：中村絵乃（事務局長）・滝本雅章（ボランティア）・加藤優子（ボランティア）・三宅麻子（ボランティア）・末永知実（ボランティア）

46「地球市民講座」（2011.11.9）

主催：千代田区  
内容：新・貿易ゲーム  
対象：高校生・一般  
派遣者：西あい（事務局次長）・滝本雅章（ボランティア）・加藤優子（ボランティア）・三宅麻子（ボランティア）・末永知実（ボランティア）

47「女性キャリア授業：食について」（2011.11.17）

主催：聖徳大学付属取手聖徳女子中学校  
内容：地球の食卓  
対象：中学2年生  
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

48「異文化理解論IB」（2011.11.17）

主催：明星大学人文学部国際コミュニケーション学科  
内容：100人村  
対象：大学1,2年生  
派遣者：上條直美（理事）

49「教育・男女共同参画学習会」（2011.11.27）

主催：守口市立中央公民館  
内容：未来を変える、日常の暮らしを見直す  
対象：一般  
派遣者：佐藤友紀（理事）

50「指導者育成セミナー」（2011.11.27）

主催：（特活）国際ボランティアセンター山形／IVY  
内容：対立から学ぶ  
対象：IVYボランティア・教員  
派遣者：中村絵乃（事務局長）

51「水映画祭」（2011.12.5）

主催：（特活）アジア太平洋資料センター／PARC  
内容：水のワークショップ  
対象：一般  
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

52「鶴見区人権啓発推進指導者養成講座」（2011.12.7、2012.1.18／計2回）

主催：鶴見区役所  
内容：子どもの権利、子どもに関するワークショップ  
対象：鶴見区民、ボランティア  
派遣者：佐藤友紀（理事）・浜本裕子（理事）

53「国際科国際理解スペシャルウィーク」（2011.12.15）

主催：川崎市立橋高等学校  
内容：パーム油のはなし  
対象：高校2年生  
派遣者：中村絵乃（事務局長）・逆瀬川愛貴子（ボランティア）・末永知実（ボランティア）

54「国際理解講座」（2011.12.16）

主催：調布市北部公民館  
内容：グローバル・エクスプレス「世界からの援助」  
対象：一般  
派遣者：八木亜紀子（事務局員）

55「交流文化学会セミナー」（2011.12.16）

主催：愛知淑徳大学交流文化学会  
内容：ケータイの一生  
対象：大学生  
派遣者：西あい（事務局次長）

56「やまなしYIA国際塾」（2011.12.17）

主催：（財）山梨県国際交流センター  
内容：100人村

対象：一般  
派遣者：中村絵乃（事務局長）

57「国際理解講座」（2011.12.18,2012.1.9／計2回）

主催：（公財）新宿未来創造財団 文化交流課  
内容：100人村、貿易ゲーム  
対象：小学生以上、親子  
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

58「高校生セミナー」（2012.1.8-9）

主催：JICA大阪  
内容：国際協力など  
対象：高校生  
派遣者：佐藤友紀（理事）

59「NPOの会費・寄付拡充のための研修」（2012.1.14）

主催：（社福）大阪ボランティア協会  
内容：寄付講座  
対象：NPOスタッフ  
派遣者：八木亜紀子（事務局員）

60「NGO論（国際協力入門）」（2012.1.16）

主催：桜美林大学  
内容：パーム油  
対象：大学生  
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

61「内原小学校6年生授業」（2012.1.19）

主催：水戸市教育委員会 みと好文カレッジ  
内容：100人村  
対象：内原小学校6年生  
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

62「特別講座」（2012.1.26）

主催：新潟大学付属長岡中学校  
内容：演習100人村  
対象：中学生  
派遣者：中村絵乃（事務局長）・加藤優子（ボランティア）

63「総合学習 国際理解教育」（2012.1.30／2回）

主催：川崎市立野川小学校  
内容：100人村  
対象：小学生  
派遣者：宮崎花衣（事務局員）

64「全国国際協力推進員会議」（2012.2.7-8／計2回）

主催：JICA国内事業部市民参加推進課  
内容：ファンリテーター養成、課題の共有・問題解決  
対象：JICA国際協力推進員  
派遣者：中村絵乃（事務局長）・西あい（事務局次長）・宮崎花衣（事務局員）

65「国際理解授業」（2012.2.10／計2回）

主催：東京医薬専門学校  
内容：100人村、パーム油など  
対象：専門学生  
派遣者：宮崎花衣（事務局員）・逆瀬川愛貴子（ボランティア）

66「ワンワールドフェスティバル」（2012.2.12）

主催：ワンワールド実行委員会  
内容：チョコレート・地球の食卓  
対象：一般  
派遣者：佐藤友紀（理事）

67「教員研修」（2012.2.21）

主催：大阪市立学校人権教育研究会 にんげん研究委員会  
内容：コミュニケーション  
対象：小中学校教員  
派遣者：佐藤友紀（理事）

68「国際理解講座」（2012.2.23／計2回）

東京医薬専門学校 医療秘書・病院管理科

内容：100人村、読めないお知らせなど

対象：専門学生

派遣者：西あい（事務局員）・宮崎花衣（事務局員）

69「寄付促進キャンペーン事業」（2012.2.25）

主催：（特活）ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

内容：寄付講座

対象：NPO職員

派遣者：八木亜紀子（事務局員）

70「ぶんぱく子ども教室」（2012.2.25）

主催：京都府京都文化博物館

内容：地球の食卓

対象：小中学生

派遣者：佐藤友紀（理事）

71「グローバルセミナー2012」（2012.2.25）

主催：さいたまNGOネット、埼玉県国際交流協会、JICA地球ひろば

内容：東日本大震災、多文化共生

対象：教員・一般

派遣者：西 あい（事務局次長）

72「開発教育ワークショップ体験会」（2012.3.17）

主催：（財）仙台国際交流協会

内容：100人村

対象：教育関係者、学生、市民団体

派遣者：西あい（事務局次長）

73「ファシリテーター養成ワークショップ」（2012.3.20）

主催：（財）ライフハート基金

内容：ファシリテーター養成

派遣者：中村絵乃（事務局次長）

74「ファシリテーション基礎研修」（2012.3.31）

主催：長浜バイオ大学

内容：ファシリテーター養成講座

対象：大学の教職員

派遣者：中村絵乃（事務局次長）

75「総合教育演習」（2011.9.27 - 2012.1.24 /計28回）

主催：横浜市立大学

内容：演習：開発教育について

対象：大学生

派遣者：中村絵乃（事務局次長）

**<資料3> 「名義後援」の実績一覧**

(計:7件)

- ① 教育協力NGOネットワーク 「世界一大きな授業」(2011年4月18日～24日)
- ② (財)日本クリスチャンアカデミー 「開発教育セミナー2011」(2011年6月～12月)
- ③ (財)滋賀県国際協会 「平成23年度国際教育教材体験フェアin滋賀」(2011年5月28日)
- ④ 国際教育フォーラム 「国際教育フォーラム公開シンポジウム」(2011年10月23日)
- ⑤ 宇都宮大学国際学部 多文化公共圏センター「第3回グローバル教育セミナー～危機の時代におけるグローバル教育」(2011年11月11日)
- ⑥ (財)滋賀県国際協会 「平成23年度国際教育ワークショップ～地球市民を地域とともに育てよう」(2012年1月14日)
- ⑦ 立正佼成会青年本部 「青年の日」(2012年5月20日を中心に)

以上